



令和4年6月28日  
保育センター発行

6/6に行われた、多機能型発達支援事業所シャインキッズ代表の井上綾乃先生による発達支援についての研修をまとめてみました。  
参加できなかった方も、ぜひご覧ください！

皆、自分の価値観が正しい、そして周囲の価値観も自分と同じだと思っている。だけど…

社会適応できる→多数派の価値観  
社会適応が難しい→少数派の価値観

多様な発達を理解するには  
少数派の価値観の理解が必要

その子の思考に寄り添う  
**ゼロベース思考**  
(自分の価値観を捨てる)

医療モデル(本人を変える)ではなく  
**社会モデル(環境を変える)**

【ゼロベース思考で少数派の意見の受容体験をしました！】  
・固定概念を捨て、より希少な意見を出す  
・他者の意見には肯定する、ほめる  
・他者の意見を基に、自分の価値観を広げる

例えば、  
友だちの使っていたおもちゃを取ってしまう子に…

【医療モデル】では「とらないよ」と注意する  
【社会モデル】ではパーソナルスペースを確保し、一人遊びを充実させる

「気になる行動」は  
感覚の偏りから  
起きていることが多い



**前庭感覚**  
重力、バランス、スピード、揺れを感じる感覚

**固有受容覚**  
力加減、筋肉・関節から身体の動きや位置を感じる感覚

感覚は生理現象と同様  
我慢することは出来ない



感覚を感じられる  
センサリーツール

センサリーツールで  
感覚を提供



鈍感さん

部屋の中でくるくる回る、  
高いところに登るなど…



一般的な人



敏感さん

鈍感さんには感覚刺激をたっぷり提供し、  
敏感さんには取り除いて安心できる  
ような工夫が必要

のりを触るのを嫌がる、  
偏食があるなど…

前庭感覚を体験しました  
「目をつぶって片足で  
何秒立てるかな？」

参加した方の声

自分自身の価値観を一度ゼロにして、その子の考えている事、気持ちに寄り添った関わりを大切にしていこうと感じました。  
にいくら保育園  
岡庭史歌さん

今回の研修を受けて、自分のクラスや子どもたちの事を思い出し、「なるほど!」と思うことが多々ありました。「なぜその行動をしていたのだろう?」と疑問に思った保育も、この研修で謎が解けたような気がしました。

さくらさくみらい 和光  
丸茂葉さん

医療モデルの考えから社会モデルの考えへ、という点がとても勉強になりました。環境を変え、それぞれの子どもに合った環境を作ることが大切だなと思います。

第2ひだまりの保育園  
遠藤景子さん



グループでの話し合いや、体験しながら学ぶ時間があり、専門的な知識もスツと頭に入る研修でした。次回7月11日(月)も発達支援について、一緒に学びましょう!

研修担当:保育センター  
保育士 市田明絵